

国際シンポジウム マイノリティ状況と共生言説Ⅳ

2013年3月11日(月) 1300-1730
名古屋大学文系総合館7階カンファレンスホール

- 1300-1330 田所光男(名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授)
「〈時間的マイノリティ〉に基づく新旧関係論の可能性」
- 1330-1400 加野泉(名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程)
「就学前教育政策に見る共生言説」
- 1400-1430 張雅婷(名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程)
「リービ英雄『国民のうた』にみる知的障害者表象
—家族関係の変化に着目して—」
- 1440-1540 ハスエリドン(内モンゴル大学准教授)【招待講演】
「中国における民族教育の行方
—少数民族に対するバイリンガル教育政策の理念と実践をめぐって—」
- 1550-1650 マルク・コペール(パリ13大学准教授)【招待講演】
“Les surréalistes :
une action minoritaire dans un monde globalisé”
- 1700-1730 討議

2011年3月12日(火) 1300-1730

- 1300-1330 イザベル・ピロドー(名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程)
「文芸書籍における「訳者あとがき」の存在意義
—標本調査から見える訳者後書きの役割—」
- 1330-1400 高峽(日本学術振興会特別研究員)
「「無法松」への想像力
—小説『富島松五郎伝』および映画「無法松の一生」を中心に—」
- 1400-1430 柴田哲雄(愛知学院大学准教授)
「国家的危機における優生学—永井潜と潘光旦—」
- 1440-1540 ウォン・ガンリン(マラヤ大学上級講師)【招待講演】
“Malaysian Indians' Identity”
- 1550-1650 アンヌ・ラリュ(パリ13大学教授)【招待講演】
“La « liste H » :
Donna Haraway et la littérature d'anticipation politique”
- 1700-1730 討議

一般来聴歓迎

フランス語講演は翻訳あり

主催：日本学術振興会・科学研究費補助金基盤研究(B)
「20世紀における多様なマイノリティ状況の解明と共生言説の検討」

連絡先：田所光男 (tadokoro@cc.nagoya-u.ac.jp)